



四ヶ堰上部に残る狭い橋
(広丘吉田)

◆四ヶ堰上部の活用について

問 四ヶ堰上部の活用についての現況はどうか。また、市道の一部としてかかっていた橋の撤去の予定は。(柴田)

答 平成22年度までに、遊歩道や花壇の整備、出入り口の設置やガードレールの撤去などを行う予定。橋の撤去は市道改良事業として実施する。

◆こどもの遊び場づくり支援

問 プレーパーク(冒険遊び場)設置を目指す市民団体が4月に設立された。「一日プレーパーク」開催やプレリーダー養成講座等開催を企画しているが、行政としての支援はどうか。(丸山)

答 イベント型の体験で様子を知らせ支援者の拡大につながるかと考える。実施する市民団体の相談に応じ、学校や地域役員への周知等、広報で支

援する。養成講座開催の場合には後援や具体的支援を検討しよう。

緊急医療 対応と 健康づくり

◆新型インフルエンザ対策

問 危機管理上の重要課題で、市民の安全に万全な準備が必要であるが医療体制はどうなっているのか。(山口)

答 発熱の際はまず松本保健所へ相談をしていただく。「波田総合病院」が県の指定病院であり、本市独自の「発熱外来」を「松本歯科大学」の敷地内に設置することにし準備を進めている。

問 学校、保育施設の閉鎖時は医療、教育機関従事者など



本市独自の発熱外来が設けられる
松本歯科大学病院



乳ガン、子宮頸ガン検診の
受診率を高める施策を

の職業や、経済的事情で家庭保育できない家庭への対応が必要、その対策は。(山口)

答 「家庭保育調査」を実施し、災害時の保育園や児童クラブでの受け入れ希望家庭を確認している。対応は現在検討中である。

◆ガンの検診率向上を

問 女性特有の乳ガン、子宮頸ガンは検診の有効性が高いが受診率が低く一年間で2千500人の尊い命が失われている。受診への働きかけが求められるが対策はどうか。(山口)

答 対象となる女性に無料で検診が受けられるクーポン券と、検診手帳を交付する制度が今年度あるが市としての対応は検討をしていきたい。

◆課税方式の変更実施を

問 高すぎる国保税が払えずに滞納が増加するという悪循

環を断ち切るために、保険者として国保税の算定方式の見直しを実施すべきではないか。所得割では「旧ただし書き方式」から「本文方式」への変更や、資産割を徐々に減らしていくことなど検討すべき時期ではないか。(柴田)



国民健康保険の窓口
(市役所本庁舎 1階)

